

従業員一同精進して行きたい

常務取締役 本店店長 大橋 和則



本年もどうぞよろしくお願ひします。



新年明けましておめでとうございます。旧年中は多くのご愛顧を賜り有難うございました。

まほろばの新年の事初めは、地下、無限心庵にて、新年の儀をアイヌ式で行いました。結城幸司さん、福本昌二さんの下、鎮魂と迎神、自然を敬い自然に感謝し、水への感謝、まほろばのお客様、従業員の健康と、幸多き一年であるようにお祈りさせて頂きました。その中で感じたことは自然が与えてくれる多くの恵みの中で、私たちは生かされ、全ては繋がっていると再認識できた事です。

アイヌ民族博物館のサイトによると、アイヌの祈りとは、あらゆるものに魂が宿っていて、なかでも動物や植物など人間に恵みを与えてくれるもの、生活用具などのように人間の生活に欠かせないもの、あるいは地震や津波など人間の力が及ばないものをカムイ「神」と呼んで敬っていたようです。

昔の暮らしは自然と直接向き合っていましたから、衣食住のすべてにわたって自然界と調和していました。自然界の神々と仲違いしたら、食べ物を得られず、災害に見舞われるとの考え方だったようです。

この世は偶然ではなく必然の連続とは良く言われる言葉ですが、震災からもうすぐ2年、私たちはそこから何を学び、未来に何が残るのでしょうか？

復興もなかなか進まず世の中に閉塞感が漂う昨今、政治を批判することは簡単ですが、その政治家を選んでいるのは私たち一人ひとりです。全てが繋がっているとすれば、私たち個々の意識の変革こそが重要なのではないのでしょうか。

まほろばも来年は創業30年の大きな節目を迎える事が出来ますが、その前に変革しなければいけない所、初心に戻り実践しなけれ

ばいけない所を見直し、大地にしっかりと根差した基礎を構築できればと思います。



理想は大きく掲げてはいますが、組織としては未熟者です。現実的には日々の業務の中でお客様にご迷惑をお掛けしている事も多く、この場お借りしてお詫び申し上げます。売り出しの時などは、以前勤めていたパートさんや授産施設からの応援を経て何とか凌いでいますが、経験不足からの間違いも多く、従業員教育の必要性を感じています。(授産施設から来て頂いている人達は、エプロンが従業員と違いますのでご理解ください。)

今まで時間的余裕がなく疎かになっていた従業員教育を、少しずつ実践しながら、組織としての確立、人間性を磨き、情報と心の安らぎを与えられるまほろばへと、変革の年にしていきたいと思ひます。

商品仕入れに於いては初心に戻り、まほろば独自の仕入れ基準をより厳格に、より明確に、まほろばらしさをお伝えできたらと思ひます。お客様には一時的にはご不便をお掛けすることも予想されますので、何卒ご了承いただければと思ひます。

「小国寡民」を目指し、真のまほろばへと成るよう従業員一同精進して行きたいと思ひますので、本年もご愛顧のほど宜しくお願ひ申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

